

## 優良建設工事表彰

## 推 薦 書

東部農林 事務所

部 門	優良工事部門		
工 事 名	令和3年度経営体育成基盤整備高根西部・一色地区区画整理3工事		
工 期	令和3年8月21日	～	令和5年2月10日
工 事 概 要	区画整理工 A=6.9ha (整地工A=5.64ha、用水路工L=1,408.6m、排水路工L=829.0m、道路工L=1,025.1m)		
受 注 者 名	がくなんけんせつかぶしがいしゃ 岳南建設株式会社		
技 術 者 名	まつなわとしあき 松縄敏昭		
工 事 成 績 点	87 点	最 終 契 約 額	191,994,000円
推 薦 理 由	<p>本工事は、御殿場市上小林地内において、大型農機による生産性の高い農地にするため、不整形な既存農地を区画整理や農道、用排水路の整備を一体的に実施する工事である。</p> <p>現場状況は、新東名高速道路沿いに位置し、比較的住宅地と農地が混在していた。<b>地域は地下水位が高く、施工に苦慮したが排水対策が本工事のクリティカルパスと認識し、暗渠排水を重視</b>した、効率的な施工計画立案や周辺住宅地への環境配慮も考慮し、安全かつ的確に工事を完成させた。</p> <p><b>【効率的な湧水処理】</b>  <b>・各ほ場ごとの暗渠排水計画</b>  地区全体的に地下水位は高いものの、各ほ場ごとに湧水の発生高さが異なっていたことから、<b>湧水処理を適切に実施</b>する必要が生じた。このため、<b>主たる排水暗渠管の配置位置を決定し、枝状に集水暗渠管を配置させた</b>。湧水系統ごと暗渠配管計画を立案し、効率的かつ効果的な排水処理計画を提案した。</p> <p><b>【創意工夫】</b>  <b>・掘削や整地工におけるレーザーレベルの使用</b>  捕水工の掘削において、丁張と水系の使用による在来工法では、糸たるみによる逆勾配の発生リスクがあるが、<b>勾配レーザーレベルを設置し、計画排水勾配を0.2%を目途に設定</b>し、逆勾配にならないように工夫した。  また、<b>ブルドーザによる整地工においても、レーザーレベルを活用</b>し、ほ場の均平を確保した。</p> <p><b>【地域貢献等】</b>  <b>・濁水対策の実施</b>  掘削により生じた<b>濁水対策として既設水路内に簡易濁水処理装置を設置</b>して、下流域への耕作の影響を低減した。</p>		

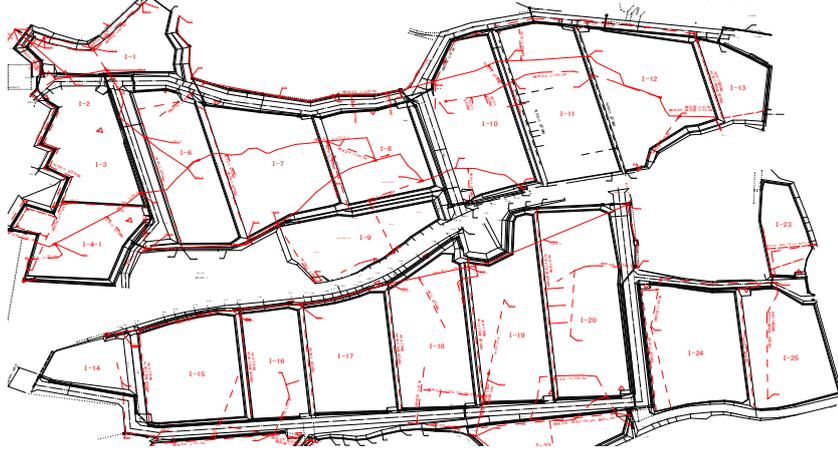
写真等



工事着手前



工事完了



暗渠排水計画



湧水状況



捕水工施工状況



レーザーレベルの使用



簡易濁水処理装置設置状況

## 優良建設工事表彰

## 推薦書

東部農林事務所

部 門	優良工事部門		
工 事 名	令和3年度畑地帯総合整備(担い手育成)アグリふじおやま地区貯水池2工事		
工 期	令和3年8月28日 ～ 令和4年7月29日		
工 事 概 要	PCタンク工 N=1箇所 杭基礎工(PHC杭φ700)L=26.5～28m:21本 PCタンク工(底版外径:D=17.5m、配水池内径:D=16.0m 有効水深:Hw=5.0m、有効貯水量:V=1,000m <sup>3</sup> ) 附帯工(場内舗装工:アスファルト舗装A=86m <sup>2</sup> 、附帯施設工:ネットフェンスL=114m、場内排水工L=131m)		
受 注 者 名	かぶしきがいしゃむろふしぐみ 株式会社室伏組		
技 術 者 名	なかやまのりひさ 中山典尚		
工 事 成 績 点	88 点	最 終 契 約 額	171,039,000円
推 薦 理 由	<p>本工事は、駿東郡小山町において建設中である、次世代施設園芸団地へ農業用水を安定的に供給するため、地下水を貯水するPCタンクを施工するものである。本地域は富士山周辺特有のスコリアが広く分布しており、PCタンクの地盤支持力を確保するためφ700mmのPHC杭を21本(L=26.5m～28m)打設し、PCタンク基礎地盤の支持力確保とPCタンク本体の施工をおこなうものである。</p> <p><b>【創意工夫】</b></p> <p>① 穴あき鉄板の使用 PHC杭施工の掘削時の際、<u>穴あき鉄板を使用し</u>、杭芯の施工精度を高め規格値が100mmに対し<u>最大50mmの誤差で施工</u>した。</p> <p>② メッシュマットの使用 底版工施工の際、<u>鉄筋加工後に鉄筋上にメッシュマットを設置し</u>、足の踏み抜き防止による<u>作業員の安全対策</u>を行った。</p> <p><b>【施工管理】</b></p> <p>① 電子黒板・ドローン活用による業務の効率化 電子黒板を使用することで<u>写真管理業務の効率化</u>を図った。また定期的にPCタンク内外と地区全体をドローンで空撮し進捗管理の補足資料とした。事業関係者内での<u>進捗状況確認の情報共有にも活用</u>した。</p> <p>② 緻密な出来形管理の実施 出来形管理において、直径管理だけでなく、円弧長の出来形管理を併用し、円弧長規格値のばらつきを社内規格値の50%以内に収め、真円に近づけた。</p> <p><b>【地域貢献等】</b></p> <p>① 現場周辺地域の除雪及び凍結防止剤の散布 地元住民や企業が使用する道路の除雪作業及び<u>凍結防止のために塩化カルシウムを散布</u>するなど現場周辺地域の環境整備に積極的に取り組んだ。</p> <p>② インターンシップ生や職場OJT研修の受入れ <u>地元の工業高校のインターンシップ生を受入れ測量業務等の指導</u>を行ったほか、杭基礎工施工時に農林事務所職員を対象としたOJT研修の受入れを積極的に行った。</p>		

写 真 等



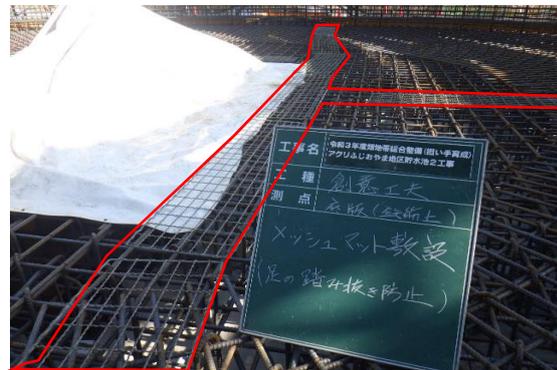
工事着手前



工事完了



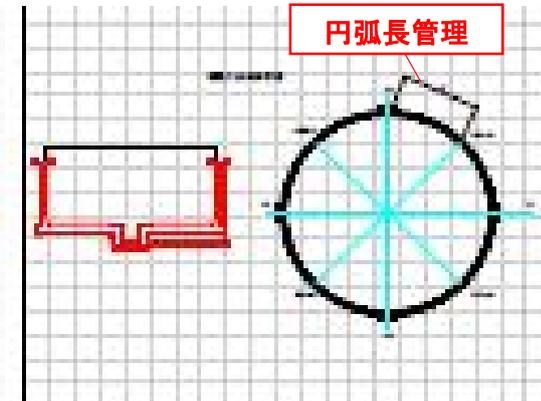
穴あき鉄板の使用



メッシュマットの使用



電子黒板の使用



円弧長管理



凍結防止剤の散布



職場OJT研修の受入れ

## 優良建設工事表彰 推 薦 書

中遠農林 事務所

部 門	優良工事部門		
工 事 名	令和3年度治山（防災林造成）千浜1工事		
工 期	令和3年8月31日	～	令和4年5月25日
工 事 概 要	生育基盤盛土 25,071m <sup>3</sup> 防風工 1,033.6m 植栽工 1.2ha		
受 注 者 名	かぶしがいいしや とびそうけんせつ 株式会社 鳶宗建設		
技 術 者 名	はなだ つよし 花田 剛		
工 事 成 績 点	90 点	最 終 契 約 額	158,169,000円
推 薦 理 由	<p>本工事は、掛川市千浜地区で海岸防災林再生のため生育基盤盛土と森林造成を施工したものである。現場は、海岸最前線に位置し、強風、飛砂及び絶滅危惧種であるアカウミガメ産卵地への配慮等、<u>厳しい条件を克服するとともに、ICT技術の活用等により質が高く、出来栄の良い工事を完成させたことは他の模範となる。</u></p> <p><b>【施工管理】</b></p> <p>① ICT技術の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通常、2.5万m<sup>3</sup>を超える盛土工は1年程度の工期が必要だが、<u>ICT技術を活用することで、工期を9ヶ月に短縮し、無事故で工事を完成させた。</u></li> <li>・<u>3次元マシンコントロールバックホウ等</u>を導入したことにより、重機周辺作業が不要となり、事故のリスクを減少させただけでなく、99%の管理地点で規格値の50%以内という<u>高い精度の出来形管理を達成</u>した。</li> </ul> <p>② 創意工夫（施工性等の向上）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>流末処理工では、現場での作業を減らすため、地上でワイヤメッシュ外枠を作成する工夫</u>を行い、栗石敷均しや埋戻しを安全かつ早期に施工した。</li> <li>・植栽工では、防災林の早期成立のため、自主的に成長促進剤の散布等を実施した。</li> </ul> <p><b>【安全管理】</b></p> <p>① 高度な安全管理能力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>地元との調整やアカウミガメ産卵地へ配慮を行い盛土材の搬入ルートを検討。</u></li> <li>・隣接工事と土砂搬入の日程や時間帯等について連絡を密にすることで、受注者同士の事故防止を徹底し無事故で工事を完成させただけでなく隣接工事と一緒に工期短縮を図った。</li> <li>・<u>バックモニター付きバックホウの導入や新技術の後方ガードセンサ取付等</u>を積極的に取り入れることで、<u>人身事故のリスクを大幅に減少</u>させた。</li> </ul> <p><b>【地域貢献】</b></p> <p>① 地元との積極的なコミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2ヶ月に1回程度の頻度で<u>ドローンで撮った施工地写真を連続して掲示し、地域住民に一目で工事状況が分かるよう工夫</u>した。</li> <li>・地域住民の要望を募るため、<u>現場事務所にフリートークボックスを設置</u>し、要望が寄せられた全3件について対応し、内容を周知した。</li> <li>・台風通過後等には漂流物が海岸に流れ着くことから、環境保全活動の一環として、<u>毎月、工事現場周辺の海岸清掃活動を実施した。</u></li> </ul>		

写真等

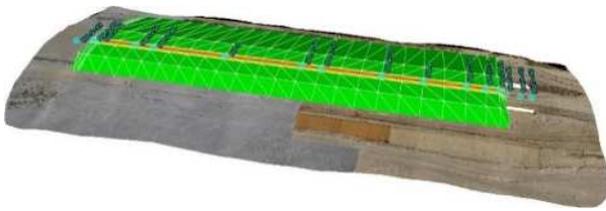
令和3年度治山（防災林造成）千浜1工事



全景（着手前）



全景（完成）



ICT技術の活用  
（UAV測量による3次元設計データ作成）



ICT技術の活用  
（3次元マシンコントロールBHの導入）



創意工夫  
（流末処理工のワイヤメッシュ外枠の作成）



安全管理  
（後方ガードセンサー取付（NETIS登録））



地域貢献  
（地域住民への情報発信・フリートークボックスの設置）



地域貢献  
（毎月周辺の海岸清掃活動を実施）

## 優良建設工事表彰

## 推 薦 書

西部農林 事務所

部 門	優良工事部門		
工 事 名	令和3年度治山（復旧）東山工事		
工 期	令和4年3月22日	～	令和4年6月30日
工 事 概 要	山腹工 A=0.16ha 簡易法枠工（枠内：厚層基材5cm） 1,445㎡ 〃 （枠内：モルタル吹付7cm） 800㎡		
受 注 者 名	かぶしきがいしゃ まさひさこうぎょう 株式会社 正久工業		
技 術 者 名	まさひさ こうせい 正久 厚成		
工 事 成 績 点	89 点	最 終 契 約 額	61,500,000円
推 薦 理 由	<p>当施工地は、浜松市天竜区春野町杉地内における1級河川杉川と国道362号に隣接地で発生した山腹崩壊に対する簡易法枠工による治山工事施工地である。</p> <p>当地は、<u>平均傾斜約45度の山腹崩壊地という悪条件下で、ケーブルクレーンを利用して各種資材を運搬するなど極めて困難な現場であったが、厳しい条件を克服するとともに、安全に品質の良い治山施設を早期に完成させたことは他の模範になる。</u></p> <p><b>1 工程管理（工期の短縮）</b> <u>資機材・人員を計画的に効率よく配置した結果、当初工期の10月31日（工事期間約7カ月）を4カ月短縮して6月30日（工事期間約3カ月）に完成させた。</u></p> <p><b>2 ICTの活用</b> ドローンを利用して「施工前後の全体写真」を撮影した。また、段階確認時、出来形確認を目的に<u>ドローンを利用することで、施工管理の安全性向上や効率化・省力化を図った。</u></p> <p><b>3 安全対策</b> 釣り人などの進入による事故発生を防止するため、<u>進入防止ロープの設置など、第三者に対する安全対策を積極的に実施した。</u> また、<u>当施工地は平均傾斜が約45度で、小さな人為的ミスが重大事故に直結するため、毎朝のKY活動を通じて、安全な場所で確実にライフラインを着用するなど注意喚起を徹底した。</u></p> <p><b>4 資機材の飛散防止対策の実施</b> 近隣の茶畑や国道に工事施工に伴ってセメント等の資材が飛散しないよう、<u>景観に配慮して緑色シートで機械周囲等を養生した。</u></p>		

写 真 等

令和3年度治山（復旧）東山工事



全景（着手前）



全景（完成時）



全景（完成時）



安全対策（KY活動で注意喚起を徹底）



安全対策（平均傾斜45度の急傾斜地におけるライフライン着用による作業状況）



安全対策  
（施工地への第三者の進入防止ロープを設



資機材の飛散防止対策の実施  
（景観に配慮し緑色のシートを使用）

## 優良建設工事表彰

## 推 薦 書

中部農林 事務所

部 門	優良技術者部門		
工 事 名	令和3年度農道整備（基幹）小島茂畑4期地区農道開設2工事		
工 期	令和3年8月23日 ～ 令和4年7月22日		
工 事 概 要	農道開設工事 L=104m(W=4.0m) 掘削：186m <sup>3</sup> 法面整形：92m <sup>2</sup> 岩盤整形：133m <sup>2</sup> モルタル吹付工 334m <sup>2</sup> 補強土壁工：680m <sup>2</sup> 函渠工（H1800×W3300）：11m		
受 注 者 名	かぶきがいしゃ 株式会社 オジマ土木 <small>どぼく</small>		
技 術 者 名	たかはし しょうきち 高橋 勝吉		
工 事 成 績 点	86 点	最 終 契 約 額	81,279,000円
推 薦 理 由	<p>本工事は、静岡市清水区小島町地内において基幹農道の開設を行うものである。</p> <p>工事箇所は、<b>急峻な山間部に位置し、狭隘な工事区間</b>内に、補強土壁工、モルタル吹付工、函渠工等の<b>多様な工種を実施するという工事</b>であった。</p> <p>急峻な山間部での農道開設をおこなうといった厳しい状況にもかかわらず、担当技術者は、<b>適切な施工管理や安全対策について工夫</b>を行い、出来形の優れた工事を完成させた。</p> <p>【施工管理等】</p> <p>① 使用材料管理の工夫 補強土壁工に使用する敷設材の管理において、使用材料の規格を明確化するため、<b>カラーテープにより色分け</b>を行い、<b>管理の効率化と材料の選択ミスを防ぐ工夫</b>を行った。</p> <p>② ドローン活用による進捗管理等の工夫 現場条件が厳しいことから、通常の工事進捗管理に加え、<b>定期的にドローンにより現場状況の空撮を行い進捗管理の補足</b>を行った。また、降雨前は事前に法尻等の確認にドローンを活用し、降雨対策が必要である箇所について、事前に対策を実施した。また、切土側は高所法面が連続しており、落石や土砂崩落も懸念されることから、<b>定期的に高所法面の状況を把握するためにドローンを活用し、地山の状態監視を実施し、安全管理に努めた。</b></p> <p>【地域貢献】 過年度に施工した同農道路線において、視距が悪いカーブ区間の草刈りを定期的実施した。また、大雨後は、現場周辺部の見回りを行い、倒木等の障害物が確認された時は積極的に処理を行い、大きく地域に貢献した。</p> <p>【安全対策】</p> <p>① 重機と作業員の接触事故防止対策 地形上作業ヤードが狭く、限られた範囲内での作業が多いことから、重機と作業員の接触事故が想定された。このため、<b>「後方監視カメラ」を搭載したバックホウを採用し、狭隘な現場内での作業員の安全確保を図った。</b></p>		

写真等



工事着手前



工事完了



カラーテープによる色分け



ドローンによる空撮



視距確保のため定期的な草刈り



大雨後の現場周辺部の倒木処理



後方監視カメラを搭載したバックホウ

## 優良建設工事表彰

## 推 薦 書

東部農林 事務所

部 門	優良技術者部門		
工 事 名	平成29年度障害防止（治山治水）東富士地区境沢川調節池工事		
工 期	平成30年3月17日 ～ 令和4年11月28日		
工 事 概 要	調節池 1箇所（傾斜遮水ゾーン型フィルダム） 堤体工 掘削量 V=952千万m <sup>3</sup> 、築堤量 V=108千m <sup>3</sup> 洪水吐工 N=1箇所（設計洪水流量247m <sup>3</sup> /s） 流入工 N=1箇所（設計流量67.9m <sup>3</sup> /s） 導水路工 L=205m（設計流量35.5m <sup>3</sup> /s）		
受 注 者 名	おおばやし おおもと むつぎょう とくていけんせつこうじ きょうどうきぎょうたい 大林・大本・睦産業 特定建設工事共同企業体		
技 術 者 名	はまの まさみつ くらはし ゆうき こみやま たくや 濱野 正光・倉橋 祐紀・小宮山 卓也		
工 事 成 績 点	86 点	最 終 契 約 額	5,754,087,000円
推 薦 理 由	<p>本工事は、降雨時の洪水や土砂流等から東富士演習場下流域の被害を未然に防止する洪水調節池を整備するものである。</p> <p>掘削土を利用した大規模な築堤や洪水吐等の大型コンクリート構造物の施工など、技術的難易度の高い工事であるとともに、多様な工種が同時並行に進むため、大型重機や作業員が相当数混在する現場である。このような中、<u>約5年間の長期工期であったが、現場管理能力を発揮し、無事に工事を完成させた。</u></p> <p>【現場管理】</p> <p>①本工事は、土工、構造物工等大規模で様々な工種が存在しており、工種ごとの施工時期も並行して施工する必要があることから、現場管理を適切に行うため、<u>工種ごとに専任の技術者を複数体制で配置し、円滑な現場管理を行った。</u>また、工事施工範囲も広く、現場状況の把握に時間を要することが想定されるため、ソーラー充電式webカメラによる遠隔現場確認を取り入れ、遠隔地においても、現場状況や作業状況を確認できるように、<u>効率的な現場管理に努めた。</u></p> <p>②「5G通信を用いた重機の遠隔操作によるダム堤体施工」の実証実験を行うなど、建設現場の生産性向上に向けた、<u>革新的技術の導入・活用に挑戦した。</u></p> <p>【安全対策】</p> <p><u>現場に即した独自の安全対策により事故なく工事を完成した。</u></p> <p>①重機接触等死亡災害の上位を占める事故や災害をリアルに体感するために、<u>VR技術を活用した事故疑似体験システム</u>を用いた安全教育を実施した。</p> <p>②残土（約80万m<sup>3</sup>）を運搬する運転手に、<u>独自のハザードビデオを作成し、道路形状や危険箇所等の情報を周知した。</u></p> <p>③現場である演習場は、常時、自衛隊が訓練で周辺を往来することから、<u>自衛隊と工事状況等の情報共有を図り、事故防止に努めた。</u></p> <p>【地域貢献】</p> <p>①演習場入会地の野焼きに先立ち、入会組合等に協力し、<u>残土運搬路沿いの除草を行い防火帯を設置した。</u></p>		

写 真 等



着手前



完成



ソーラー充電式webカメラ・遠隔現場確認



大阪府から重機を遠隔操作  
(操作室の様子)



VR体験（事故疑似体験）



自衛隊と情報共有



ハザードビデオ



防火帯の設置

## 優良建設工事表彰

## 推薦書

中遠農林事務所

部 門	安全工事部門		
工 事 名	令和3年度湛水防除排水施設整備磐田3期地区調整池3工事		
工 期	令和4年3月7日	～	令和5年1月31日
工 事 概 要	調整池および遊水池 1式 (掘削31,600m <sup>3</sup> 発生土運搬活用20,800m <sup>3</sup> 洪水吐1箇所)		
受 注 者 名	かぶしきかいしゃ すずきよみ 株式会社 鈴恭組		
技 術 者 名	すぎやま まさゆき 杉山 雅之		
工 事 成 績 点	87 点	最 終 契 約 額	233,360,160円
推 薦 理 由	<p>本工事は、磐田市見付において、湛水防除施設として柴田山調整池および柴田山遊水池を浚渫し、洪水調整機能を確保する工事である。出水期間内での施工が生じることから、<u>予め現場では避難水位を定め、出水時には池敷内から退避</u>する計画をたて、出水時における作業員の安全対策に努めた。また、比較的工事現場が市街地という事に加え、現場発生土約2万m<sup>3</sup>を場外へ搬出する工事でもあるため、施工現場の周辺地域住民に対する環境配慮対策を実施し、<u>長期間での工事であったが、事故なく安全に工事を完了</u>させた。</p> <p>【安全対策】</p> <p>①重機との接触防止対策の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施工ヤードでは、複数の重機が稼働しているため、<u>ICT土工を活用</u>することで、作業員と重機の分離を可能とし安全対策に努めた。</li> <li>・重機オペレーターの死角となる<u>バックホウ背面にバックモニターを設置</u>することでオペレーターの視距を確保するとともに、作業時立入禁止範囲の設置することで安全確保に努めた。</li> </ul> <p>②建設発生土運搬における安全性確保への取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・約2万m<sup>3</sup>の建設発生土を片道20kmある防潮堤現場へ搬出する際、<u>車両運行管理システムを導入</u>し、走行ルート of 徹底や速度超過防止等の運行管理を実施し、継続的に運搬車両の走行管理を行うことで事故防止対策に努めた。</li> </ul> <p>③広報による地域住民への周知</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民に対して、走行経路や今後の予定を記載した「<u>工事だより</u>」を<u>配布</u>することで、地域住民の理解と協力に努めた。</li> </ul> <p>【その他】</p> <p>①生活環境への配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事現場周辺が市街地のため<u>工事騒音の定期的な計測</u>や、泥落としマットを設置する等周辺環境への配慮に努めた。</li> <li>・工事現場入口が交通量の多い国道1号線バイパス側道となるため、交通誘導員の配置場所に、<u>ミストファンを設置し、熱中症対策を実施</u>した。</li> </ul>		

写真等

工事完成状況



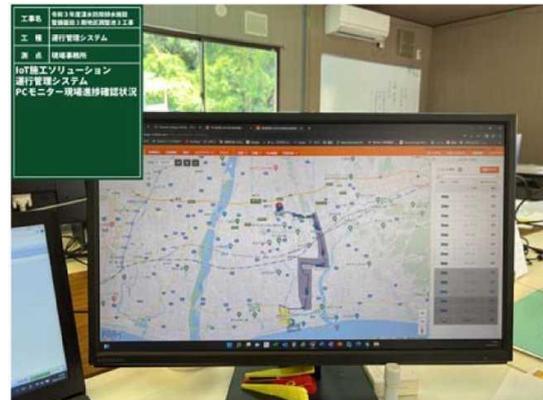
ICT活用工事の実施



泥落としシマツの配置



バックモニターの設置



車両運行管理システムの導入



工事だよりの配布



ミストファンの設置

## 優良建設工事表彰

## 推 薦 書

西部農林 事務所

部 門	地域貢献部門		
工 事 名	令和4年度ため池群整備事業（ため池緊急整備）ため池群馬込川地区堤体改修2工事		
工 期	令和4年6月30日	～	令和5年3月14日
工 事 概 要	堤体盛土工 942 m3 地盤基礎処理工 490 m3 緊急放流施設ゲート 1箇所		
受 注 者 名	(株) <small>こまつぐみ</small> 小松組		
技 術 者 名	<small>いけや しんいち</small> 池谷 真一		
工 事 成 績 点	87 点	最 終 契 約 額	81,400,000円
推 薦 理 由	<p>本工事は、浜松市浜北区宮口地内において、蛭沢池の安全性を確保するため、堤体盛土等の耐震対策を行うものである。<b>本工事は、次年度の営農までに完了させることが必須条件</b>であり、工事期間は農閑期（11月～3月）に限られていた。工種は浚渫土の泥土改良や地盤基礎処理、コンクリート構造物、堤体盛土等多様な工種を計画しており、<b>適切な工程管理と施工管理が重要な工事</b>である。受注者は、限られた施工期間の中で、ICTを活用し、作業効率を高め工事を実施した。効率的な作業を進めつつ、地域の小中学校との連携、地域住民への工事に対する理解促進等、周辺地域と積極的に関わるなど<b>公共工事のイメージアップ</b>をおこなった。</p> <p><b>【地域貢献】</b></p> <p>①地域の小・中学生に出前講座を開催  <u>亀玉（あらたま）小や中学校の学生を対象に蛭沢池の必要性や工事内容の座学を開催</u>した。また、将来の建設業界で働いてみたいと興味を抱いて貰えるよう、<u>ドローンで見る現場の景色や建設機械に直接触れる機会を設けた。</u></p> <p>②ため池の生物調査      工事にてため池に生息している生物を保護する工程にあわせ、小学生に対し、生態系を学ぶ機会を設けた。船にて投げ網を使用し、ため池に生息する生物を保護したのち、実際に在来種と特定外来種に区分することで、<u>ため池の生態系を身近に学ぶ学習の機会を設けた。</u></p> <p>③工事のわかりやすい広報      工事をPRするにあたり、親しみやすさとわかりやすさを重視し、現場代理人がデザインを考え、<u>従来の工事PR看板にとられない看板シートを作成</u>した。</p> <p>④快適トイレを地域に開放      工事現場事務所に隣接するトイレについて、入口に目隠し、トイレ内に<u>アメニティボックスを備えた快適トイレを設置</u>。トイレの利用については、<u>周辺の農家や散歩する方等にも自由に利用を可能とした。</u></p>		

写真等 令和4年度ため池群整備事業（ため池緊急整備）ため池群馬込川地区堤体改修2工事

ICT機械モニター



将来の建設業を担う人材への普及



ドローンから見える景色を見よう



職場体験



測量機器で遠くを見よう



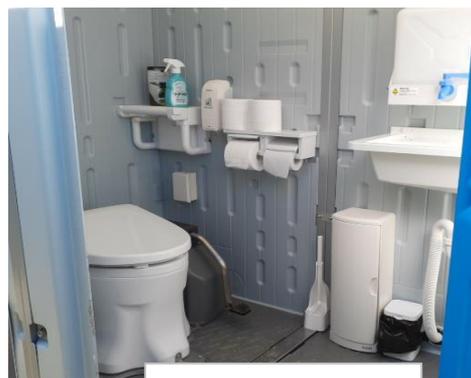
小学校における生態系学習



現場代理人のデザインによる看板シート



快適トイレを地域に開放



アメニティの設置

優良建設工事表彰

推 薦 書

中部農林 事務所

部 門	地域貢献部門		
工 事 名	令和4年度治山（復旧）三ツ野工事		
工 期	令和4年6月21日	～	令和5年2月21日
工 事 概 要	谷止工1基 V=635.2m <sup>3</sup>		
受 注 者 名	かぶしがいいしや 株式会社 アースシフト		
技 術 者 名	すずき さかえ 鈴木 栄		
工 事 成 績 点	86 点	最 終 契 約 額	67,351,636円
推 薦 理 由	<p>本工事は、静岡市葵区小布杉地内において、荒廃溪流を復旧するために谷止工1基を施工し、森林の造成を図るものである。</p> <p>三ツ野地区では<u>台風15号の際に生活道路等への土砂流出被害があったが、受注者は、自主的に重機で排土処理を行い、この迅速な対応に地域住民から多大な感謝を受けた。</u>また集落を通過する道路を使用するの資機材搬入が必要であったことから、<u>第三者事故の防止や防塵対策等、地域の生活環境の維持、保全への取り組みを丁寧に行った。</u>このような対応をしつつ、当初契約工期限内に工事を完成させたことは、他の模範となることから、地域貢献部門の部長表彰に推薦する。</p> <p>①地域貢献（災害関連）「台風15号災害での迅速な土砂除去」 台風15号では、三ツ野地区の<u>小河川の閉塞に伴う生活道への土砂流出被害が多数あり住民生活に支障を与えたが、受注者は、自主的に本工事で使用している重機を使用して道路や小河川の土砂を迅速に除去した。</u>この対応は、地域住民に大変喜ばれ、関係者から<u>所長あてに感謝の手紙が届けられる</u>など、地域に対し多大な貢献を果たした。</p> <p>②地域貢献（環境保全）「生活道を汚さないための取り組み」 台風14号、15号では崩土の流入などがあり、現場から土砂を搬出する必要が生じた。その際、搬出用トラックの荷台に<u>重機のオペレーターが視認しやすい表示を設置し、積み込み土砂量の確認を徹底することで過積載防止取り組み生活道を汚さない工夫を行った。</u></p> <p>③地域貢献（その他）「架空線に対する注意喚起」 <u>現場に至る道路沿いには、多数の架空線が張られており、地域住民の生活の維持のためにも引っ掛け事故防止は必須であった。</u>このため、<u>道路脇に幟旗や看板を設置し、トラック等の運転手への注意喚起を徹底して行った。</u></p>		

写 真 等

令和4年度治山(復旧)三ツ野工事



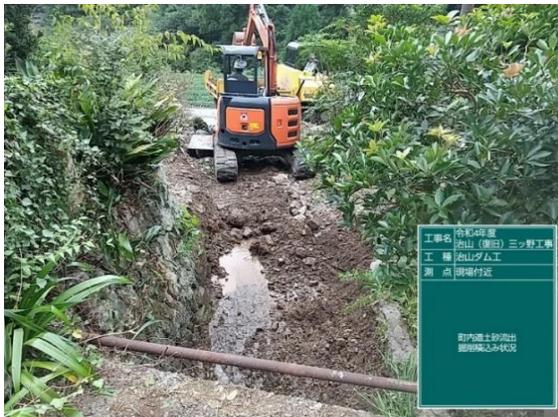
着手前



完 成



【地域貢献】災害関連  
(台風15号による生活道への土砂流出状況)



【地域貢献】災害関連  
(小河川へ流出した土砂撤去作業)



【地域貢献】環境保全  
(搬出土砂による道路の防塵対策のための土砂運搬トラックの過積載防止の工夫)

—台風15号に伴う生活道路の土砂除去対応に関する感謝の手紙です。—

令和4年10月5日

静岡県中部農林事務所長 様

(差出人) 現住所 静岡市駿河区 [REDACTED]  
実家 [REDACTED]  
氏名 [REDACTED]

先般の台風15号は未曾有の猛烈な降雨により、静岡県内に河川氾濫や土砂流出のほか、広域にわたる断水など多くの爪痕を残しました。  
私の実家がある朝比奈川最上流の静岡市駿区小布杉地域も同様で、いつもの小河川が氾濫し生活道路のいたる所に土砂が流出するなど、地域住民の生活に甚大な支障を及ぼしました。地域住民は為すすべもなく、ただ茫然自失とし途方に暮れるばかりでした  
このような状況下で、この度、まさに「地獄に仏」の有難さを感じしみじみと痛感いたしました次第です。  
それは、静岡県中部農林事務所が発注した私の実家方面での治山工事の受業者(静岡市駿区山崎2丁目17-16 (株)アースシフト)が、台風15号通過直後から、いくつもの箇所の生活道路への流出土砂を重機を駆使しこれを除却し、地域住民の生活への支障を直ちに排除していただいたことです。  
現場において受注業者にお聞きしたところによりますと、これが実現したのは静岡県中部農林事務所の地域住民の生活に対するご配慮によるものである、との由でありました。このような静岡県中部農林事務所の適切なご配慮、ご尽力に、地域の一県民として改めて深く御礼を申し上げる次第です。本当にありがとうございました。  
禿筆、略儀ながら、静岡県中部農林事務所のこの度の温かな対応への御礼の手紙とさせていただきます。

(追伸)  
なお、当時、流出土砂排除の現場で、静岡県中部農林事務所のご意向を汲んで、懸命にかつめ細やかに作業して下さった受注業者にも、心から感謝しております。

地域関係者から所長あての感謝の手紙



【地域貢献】その他  
(集落周辺における架空線の引っ掛け事故防止のための注意喚起)